

名古屋市 緑生涯学習センター

①「災害への備えは必須」

— 忘災で後悔しないために —

日 時：令和元年6月4日(火) 10:00～12:00

場 所：名古屋市 緑生涯学習センター 視聴覚室(3階)

主 催：名古屋市教育委員会 生涯学習課

参加者：16名 《緑区在住 公開講座申込者》

講 師：NPO法人 愛知県防災士会 防災士

保坂 松男 (理事・常任顧問)

ファシリテーター：6名

手塚 哲郎(副理事長・筆頭総括)

森 千代子(副理事長・兼 研修委員長)

加藤 和久(理事・兼 組織委員長)

原田 友子(理事・副広報委員長)

宮澤 昌嗣((理事・副研修委員長)

阿部 健二(理事・事務局長 兼 広報委員長)

冒頭、名古屋市緑生涯学習センターから、保坂講師の紹介を頂き、防災講演会を始めました。

今回の講演に際しまして、保坂講師から受講者の皆さまへ「防災・減災」とは、何かを判りやすく、そして、理解された内容を各種チャンネルへ広げて頂くことを願い、試行錯誤の末にまとめ上げました資料とパワーポイントを使い、途中、休憩をはさみながらも【別記】97コマの表や写真や図などに基づき、1時間40分ほどの説明を展開していきました。

特に「日本列島は、地震の巣の上に乗っている」との避けられない現状を強調しつつ、避難所生活での過酷さを伝え、これからの「備え」について細かく説明を続けて行きました。

最後に質問を受け付け、「トイレ」と「原発」への不安についてお尋ねになら



れた参加者に対して、「トイレ」について、保坂講師から説明したのち、森研修委員長へバトンタッチし、「断水トイレ」と呼ぶ商品の有効性と使用方法を補足的に説明しました。次回6月18日に同センターにおきまして、愛知県防災士会によります防災実技講習会の際に「断水トイレ」の見本品と申込用紙をお配りさせて頂くことをお約束し、防災講演会を終了させていただきました。

しかし、終了した後も、3人の女性から熱心に質問をされた保坂講師は、「防災・減災」に対する緑生涯学習センターを介し、緑区の参加者の熱い思いを感じ取ることができたようです。



講師の説明に聴き入る参加者



「断水トイレ」の説明

【別 記】

《具体的説明内容》

災害とは

①地震・津波

◇海溝型地震

◇内陸型地震

◇世界の状況について

- ・世界の災害発生状況
- ・世界の災害を知る
- ・世界の地域別の被害の内訳
- ・世界で発生する自然災害の内容
- ・世界で発生した自然災害の被害額

◇地震、津波について

- ・日本の自然災害における死者・行方不明者数
- ・世界の地震の震源分布
- ・私たち日本は災害大国です
- ・日本プレートの状況



ファシリテーターの面々

- ・日本列島周辺の地形
- ・日本周辺の震央分布
- ・日本列島は
- ・内陸型断層の種類
- ・プレートの動きについて
- ・日本列島を取り巻くプレート
- ・日本周辺のプレートと地震
- ・昭和年代で強度に起きた地震
- ・愛知県での主な地震
- ・忘れてはいけない教訓① 昭和東南海地震（海溝型）
- ・昭和東南海地震の震度状況
- ・名古屋市緑区周辺の震度5
- ・海溝型地震による津波の発生
- ・忘れてはいけない教訓② 三河地震(内陸型)
- ・三河地震の震度状況
- ・三河地震の死者の状況

②大雨・風水害

◇高潮、高波、波浪について

- ・世界的な強風の表現
- ・高潮、高波、波浪の定義
- ・愛知県の主な風水害
- ・忘れてはいけない伊勢湾台風
水没した住宅地(南区)
台風による被害の状況(南区)
避難する人々
屋根に必死にすぎる人々
- ・高潮で過去に大きな被害を受けた地域
- ・高潮の発生の要因
- ・～忘れない～ 自然との向き合い
- ・愛知県土の特質
- ・愛知県の断層①
- ・愛知県の断層②
- ・愛知県の断層③
- ・愛知県の断層④
- ・名古屋市の地形

- ・名古屋市の地形・地盤の特徴①
- ・名古屋市の地形・地盤の特徴②
- ・名古屋市周辺の断層①
- ・名古屋市周辺の断層②
- ・名古屋市周辺の断層③
- ・名古屋市のゼロメートル地域
- ・濃尾平野(名古屋市周辺)は日本最大のゼロメートル地帯
- ・名古屋市の水害時の避難行動目安
- ・名古屋市緑区の生い立ち①
- ・名古屋市緑区の生い立ち②

◇災害のリスク

- ・災害のリスク・内水氾濫
- ・災害のリスク 予想される液状化現象
- ・災害のリスク 過去の地震からした震度予想

③忘れない自然との向き合い

- ・忘れられない郷土の災害①
- ・忘れられない郷土の災害②
- ・忘れられない郷土の災害③
- ・決して忘れてはいけない ～災害の教訓～
- ・伊勢湾台風の市内の浸水域
- ・名鉄 鳴海駅の浸水状況
- ・東海豪雨の被害の内容
- ・東海豪雨の市内の浸水域
- ・東海豪雨災害 浸水地域と家屋との罹災分布
- ・東海、東南海地震の震度分布
- ・今後予想される地震①
- ・東海地震に対する地震防災対策強化地域の指定
- ・愛知県の被害想定
- ・東海・東南海地震被害想定
- ・今後、予想される災害②
- ・今後予想される地震② ～南海トラフ巨大地震～
- ・東海地震・南海トラフ巨大地震は来るのか
- ・南海トラフ巨大地震の被害想定
- ・～津波の発生～
- ・～一部割れ・反割れ・ゆっくり滑りの被害想定～

- ・～被害の全貌と避難の在り方
- ・愛知県の被害想定
- ・愛知県震度想定
- ・震度の階級と震度による家屋の倒壊
- ・南海トラフ巨大地震と東海、東南海地震との関係について
- ・「前震」が観測された際の臨時情報
- ・～臨時情報を信じない～
- ・新たに予想される地震 ～東北沖 M7級「確率90%」～
- ・日本列島は地震の巣である
- ・災害への日頃の備え
- ・救える命を増やすために
- ・災害に備えて
- ・災害時、避難への対応
- ・イザという時のために
- ・イザという時の助け合い
- ・自分の命は自分で守る

最後に

～忘災は防災の敵である

防災の啓発は永遠～



災害は必ず忘れた頃に襲ってくる

～鎮魂・被災者の痛みを忘れない～